

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 ひとつぼし		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 18日		2026年 3月 3日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2026年 3月 24日		2026年 3月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	安全・安心の確保に対する体制整備が整っていること	各種マニュアル整備、避難訓練、事故時連絡体制、アレルギー対応など、日頃からリスク管理に取り組んでいる。保護者からも「安心して預けられる」「迅速な連絡がある」という評価が多かった。	訓練内容や対応手順を定期的に振り返り、実態に即した更新を行うことで、より実践的で安心できる体制を継続する
2	職員の対応や支援姿勢が、保護者から評価されていること	送迎時の対話、面談など複数の方法を活用し、保護者が相談しやすい環境づくりを意識している。 ・支援内容やこどもの様子をわかりやすく共有し、共通理解のもとで家庭と連携しながら支援を進めている。	・保護者会・情報交換会・オンライン相談等、保護者同士のつながりも含めた交流の場を検討する。 ・相談内容や改善点のフィードバック方法をより分かりやすい形に整え、支援体制やサービス内容の透明性をさらに高めていく。
3	こども主体的に選択・決定する力を育む支援を行っている	・活動の中で、自分の思いを表現したり好きなものを選べたりできるようにこどもの気持ちや意見によく耳を傾け、自分で決めることができるよう配慮している。 ・自分で決めることが難しい場合等には、選択肢を提示する等して出来る限り本人が選択・決定できるよう支援している。	・こどもの自己決定力を育む支援を行うため、今後も研修やミーティング等を通して職員のスキルアップに努めていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されている点	・季節の行事や興味に応じたプログラムを計画し、「楽しさと学び」を両立した支援を意識する。 ・自由時間を含む個別活動と集団活動のバランス調整を行い、無理なく参加できる場づくりを行っております。	・児童や保護者の意見をより計画段階から取り入れ、活動が「選べる・提案できる・参加できる」形へ発展させる。・地域資源や体験活動の幅を広げ、児童の社会参加や挑戦機会を増やす取り組みを進める。 ・児童や保護者の希望・意見を反映できる仕組みを整え、より参加型で魅力あるプログラム展開を進める。
2	他事業所・園・地域との交流機会が十分とは言えない点	安全面の調整、児童の状況、受け入れ体制などの調整が必要であり、無理のない範囲での実施となっているため。	交流可能な内容・頻度・形式を検討し、徐々に取り組みやすい形で地域交流や外部連携の機会を広げていく。
3	未就学児は発達段階や興味・活動ベースに幅があるため、一斉活動では調整が必要となる場面がある。	未就学期は発達差が大きく、活動参加において個別配慮が必要となることがあるため。	小集団支援・興味別活動の設定・選択制プログラム等を導入し、より参加しやすい活動体制を整備する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援 ひとつぼし

公表日 2026年 3月 31日

利用児童数 20

回収数 9 名 回収率 45%

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	78%			22%		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	44%			56%	児童の人数に対して何名が適切なのか分かっておらず、すみません。見学させていただいた時以来、送迎の職員さん以外にお会いしていないのでわからないのですが、当時より増員されたと伺っているので充実していると思います。	必要に応じた支援体制の見直しと職員配置の最適化に継続して努めます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	89%			11%		視覚支援・環境構造化の案内表示など、より分かりやすい環境整備を継続します。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	78%	22%			無理強いせず、本人に合わせてペースで支援していただいていると思います。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	89%			11%		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	89%	11%				
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	78%	22%				
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。				100%	曜日によってプログラムが決まっているのかなと思うのですが、週1利用なものありブログに書かれている内容や工作の日などにあまり該当しないので、これから経験できたらいいなと思います	児童・保護者からの希望も取り入れながら、より多様な体験ができるプログラムづくりを進める
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	100%					
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	89%			11%		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	33%		33%	33%		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	78%	11%	11%		10月から通い始めたのでまだわかりません。	参加しやすい時間帯や形式（オンライン・資料配布など）を検討し、より多くのご家庭に機会が届くよう工夫する。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	78%		11%	11%		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	89%	11%				送迎時以外にゆっくり相談できる時間や方法（予約面談・電話等）を強化する。

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22%		33%	44%	HUGで毎回で報告していただけて嬉しいです。できたこと、頑張ったことの報告をしていただくことが多いですが、出来なかったことや課題点など、マイナス面の報告をしていただいても良いかなと思います。	子どもが特に安心できる職員との関係も大切にしながら、支援の一貫性が保てるよう情報共有をさらに進める
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	89%	11%			10月から通い始めたのでまだわかりません。	
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22%		33%	44%		相談の場や方法について、定期的に案内を行い、対面で相談できる機会についても分かりやすく周知していく
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	89%	11%			電話以外にもHUGで休日や時間外の連絡もできるので助かります。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	89%			11%	ブログは写真が掲載されているので、活動の雰囲気がわかりやすく見るのを楽しみにしています。スタッフ紹介のページも安心感があります	安全に配慮しながら、活動内容がより伝わる情報発信の工夫を継続する。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	89%	11%				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	78%	11%		11%		訓練の実施状況やマニュアルの内容について、保護者にも分かりやすくお知らせし、安心につなげていく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	78%			22%		訓練の振り返りを行い、子どもにとって分かりやすく落ち着いて参加できる方法を引き続き検討する。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	89%			11%		安全計画の内容や緊急時の連絡手順について、年に数回振り返りのお知らせを行い、より理解を深めていただけるようにする。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	78%	11%		11%		万が一に備えて、安心して利用継続していただけるよう、対応方法や伝え方を検討する。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	89%	11%				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	89%	11%			毎週とても楽しみに通っています。帰ってきた後もどんなことをやって楽しかったなど沢山教えてくれています！	
	29	事業所の支援に満足していますか。	78%	22%			楽しく通えることが一番だと思うので、本人にとっても合っていて満足しています。これからも幼稚園・学校以外のお友達と交流したり、視野を広げていけたら良いかなと思います。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援 ひとつばし		公表日		2026年 3月 31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1		祝日など利用が多い日や1対1対応が多い場面では人員に余裕がないとの意見もあるため、時間帯ごとの配置見直しや役割分担の工夫を進める。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		毎時、朝礼にて話し合いを行っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3		外部評価や助言の内容を全職員で共有し、具体的な改善計画や研修等に反映していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7				
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	1		現場で関わる職員の意見も計画に反映できるように、情報収集や会議の持ち方を工夫し、より客観的な情報として共有していく。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7				

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7				
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7			毎日のプログラムや、その日の児童の気分や特性に応じて、コーナー遊びを行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			毎日、朝礼で話し合っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7				
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7				
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	1		定期的なモニタリングと共に、利用者や保護者との面談を通して見直しを行っている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7				
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2		必要に応じて他事業所や関係機関と連携している。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7				
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7				
	28	(28～30は、センターのみ回答)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)					
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	1			
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	3			保育所や認定こども園等との交流機会に限られているため、安全や保護者のニーズも踏まえた無理のない交流方法を具体的に検討する	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7				口頭や連絡ツールにて活動記録を入力し、公開しています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1			参加が難しいご家庭とも情報共有ができるよう、資料配布やオンライン等、さまざまな方法での提供を検討する	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7					
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7					

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	3		保護者会や交流の場が十分ではないとの声もあるため、負担感の少ない形式・頻度で実施できる方法を具体的に検討する。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	2		保護者同席のプログラムへの参加を促すなど、地域や家庭に開かれた行事運営を検討する。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		避難訓練を実施したことを、親御様に向けて周知しております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7				